

## 2019年1月 キューバ情勢

### 【概況】

#### 1 内政

- (1) キューバ革命勝利60周年記念式典
- (2) 改正憲法テキストの公表
- (3) 閣僚の交代
- (4) 観光バスの事故
- (5) 竜巻の発生

#### 2 外交

- (1) ディアスカネル国家評議会議長のベネズエラ大統領就任宣誓式典出席
- (2) バロウ・ベリーズ首相の来訪
- (3) ヘルムズ・バートン法第三章の発効延長
- (4) グレンジャー・ガイアナ大統領の来訪
- (5) マルミエルカ外国貿易・外国投資大臣のベルギー訪問
- (6) ダワースレン・モンゴル外務次官の来訪
- (7) マレロ観光大臣のスペイン訪問
- (8) カブリサス閣僚評議会副議長のフランス訪問
- (9) マルミエルカ外国貿易・外国投資大臣のダボス会議出席
- (10) トゥーレ・ギニア外務大臣の来訪
- (11) ベネズエラ情勢
- (12) レベジェフ・ロシア最高裁判所長官の来訪
- (13) カブリサス閣僚評議会副議長のスロバキア訪問
- (14) カブリサス閣僚評議会副議長のスペイン訪問
- (15) 在キューバ・カナダ大使館の人員体制縮小

### 【本文】

#### 1 内政

- (1) キューバ革命勝利60周年記念式典

1日、サンティアゴ・デ・クーバでキューバ革命勝利60周年記念式典が開催された。その中で、ラウル・カストロ共産党第一書記は、対米批判を展開しつつ、ミゲル・ディアスカネル国家評議会兼閣僚評議会議長による政策への支持を表明し、キューバ革命の継続を強く訴える演説を行った。同式典には、ディアスカネル議長、ホセ・ラモン・マチャード共産党第二書記、エステバン・ラソ人民権力全国議会議長等が出席したが、演説したのはラウル・カストロ第一書記のみであった。

## (2) 改正憲法テキストの公表

7日、昨年12月に行われた人民権力全国議会にて採択された改正憲法のテキストが発表された。同憲法は、前文及び11編 (titulo), 24章 (capitulo), 18節 (seccion) からなる全229条及び経過規定で構成されている。2月24日には、同憲法の承認に係る国民投票が行われる予定。

## (3) 閣僚の交代

9日、国家評議会は、リナ・ペドロサ財務価格大臣及びアデル・イスキエルド運輸大臣を解任することに合意した。

財務価格大臣には、メイシ・ボラーニョス同省次官を任命した。また、運輸大臣には、エドゥアルド・ロドリゲス同省第一次官を任命した。

## (4) 観光バスの事故

9日、キューバ東部のグアンタナモ県で観光バスによる事故が発生した。同事故により、乗員乗客40名のうち、7名が死亡した。事故を起こしたバスには海外からの観光客も乗車しており、死亡者の中には、ヨーロッパや南米からの観光客も含まれる。

## (5) 竜巻の発生

27日夜、ハバナ県東部を中心に竜巻被害が発生した。同竜巻によって、4名が死亡、172名が負傷したが、ほとんどは建物の倒壊によるものであった。

同被害に対し、翌28日6:00には閣議が開催されたほか、ディアスカネル国家評議会兼閣僚評議会議長が被災地を視察した。

また、同被害に対しては、キューバ政府が海外からの寄付を募るため銀行に専用口座を開設した。

## 2 外交

### (1) ディアスカネル国家評議会議長のベネズエラ大統領就任宣誓式典出席

9日、ディアスカネル国家評議会兼閣僚評議会議長は、大統領就任宣誓式典に出席するため、ベネズエラを訪問した。同議長には、ブルーノ・ロドリゲス外務大臣及びロヘリオ・ポランコ駐ベネズエラ大使が同行した。

ディアスカネル議長は、空港でリカルド・メネンデス企画担当副大統領兼大臣の出迎えを受けたほか、ニコラス・マドゥーロ大統領、サンチェス・セレン・エルサルバドル大統領、エボ・モラレス・ボリビア大統領との記念撮影があったことを同議長のツイッターで明らかにした。

10日、ディアスカネル議長は最高裁判所で行われた大統領就任宣誓式典に出席したほ

か、ベネズエラ・ボリバル軍大学にて行われた軍によるマドゥーロ大統領へ忠誠を誓う式典にも出席した後、キューバへの帰国の途についた。

#### (2) バロウ・ベリーズ首相の来訪

15日、ディーン・バロウ・ベリーズ首相はキューバに到着し、翌16日、ホセ・マルティ像への献花を行った。

ディアスカネル国家評議会兼閣僚評議会議長との会談では、良好な二国間関係について意見交換し、両国関係をさらに強化する意志を有することで一致した。同時に、両者は地域情勢や国際情勢の関心事項についても対話した。同会談には、ベリーズ側から Lou-Anne Burns 駐キューバ・ベリーズ大使が、キューバ側からロドリゲス外務大臣、ロドリゴ・マルミエルカ外国貿易・外国投資大臣、エウヘニオ・マルティネス外務省ラテンアメリカ・カリブ局長、リセッテ・ペレス駐ベリーズ・キューバ大使がそれぞれ同席した。

#### (3) ヘルムズ・バートン法第三章の発効延長

17日、キューバ外務省は、米務省によって16日に発表されたヘルムズ・バートン法第三章の発効を、これまでの6ヶ月ではなく45日間のみ延長することに反対する声明を発表した。米務省発表直後には、ロドリゲス外務大臣が自身のツイッターで反対を表明したほか、17日にはディアスカネル国家評議会兼閣僚評議会議長のツイッターにも同旨の投稿がなされ、17日付グランマ紙及びフベントウ・レベルデ紙でも報じられた。

#### (4) グレンジャー・ガイアナ大統領の来訪

18日、キューバ訪問中のデービッド・グレンジャー・ガイアナ大統領は、ディアスカネル国家評議会兼閣僚評議会議長と会談した。両元首は、良好な二国間関係について意見交換し、両国関係を恒常的に強化するために取り組む意志を有することで一致した。同時に、両者は国際情勢についても対話した。同会談には、ガイアナ側から Abdool Halim Majeed 駐キューバ・ガイアナ大使が、キューバ側からロドリゲス外務大臣がそれぞれ同席した。

#### (5) マルミエルカ外国貿易・外国投資大臣のベルギー訪問

19日、マルミエルカ外国貿易・外国投資大臣はベルギーを訪問した。ベルギー滞在中、マルミエルカ大臣は、クリス・ペーテルス副首相兼経済大臣、Bernard de Gerlache 商工会議所会頭、ネベン・ミミツァ欧州委員会国際協力・開発担当委員、フリストス・スティアニディス同委員会人道支援・危機対応担当委員、ステファノ・マンセルヴィシ同委員会開発協力総局長等と会談した。

#### (6) ダワースレン・モンゴル外務次官の来訪

19日、ダムディンスレン・ダワースレン・モンゴル外務次官は、両国外務省間政策対

話に出席するため、キューバを訪問した。同対話には、キューバ側からマルセリーノ・メディーナ外務第一次官が出席した。

また、ダワースレン次官は、キューバ科学技術環境省（CITMA）とモンゴル環境・グリーン開発・観光省との間の環境保全に関する覚書への署名を行った。

#### （７）マレロ観光大臣のスペイン訪問

２０日から２７日、マヌエル・マレロ観光大臣は、マドリードで開催された世界観光見本市（FITUR）にキューバ代表団長として出席するため、スペインを訪問した。マレロ大臣は、FITURに参加したほか、ステラ・ルゴ・ベネズエラ観光大臣とも会談した。

#### （８）カブリサス閣僚評議会副議長のフランス訪問

２１日、リカルド・カブリサス閣僚評議会副議長はフランスを訪問し、ジャン＝バプティスト・ルモワヌ欧州・外務大臣付担当長官と会談した。二国間経済貿易委員会フランス側委員長も務めるルモワヌ長官との会談において、両者はキューバとフランスの良好な関係を確認するとともに、昨年１０月３１日に行われたディアスカネル国家評議会兼閣僚評議会議長とエドゥアール・フィリップ首相の会談における成果を喜んだ。また、カブリサス副議長は、フランス企業運動（MEDEF）本部において、キューバにおけるビジネス及び投資機会について説明した。

２３日、カブリサス副議長は、レミー・リウ・フランス開発庁（AFD）総裁と会談し、関係拡大を継続する意志及び二国間協力強化に向けた新たな相互関心分野を探索していくことを確認した。AFDは２年前にハバナに事務所を開設し、これまで、農水産業、運輸、水力発電、保健などの分野における二国間プロジェクトがいくつも署名されてきた。また、カブリサス副議長は、Odile Renaud Basso 経済財務省国庫総局長兼パリクラブ議長とも会談した。さらに、カブリサス副議長は、ブイグ・グループとともにハバナ空港の近代化・開発に携わっているパリ空港のAugustin de Romanet 社長とも会談した。

#### （９）マルミエルカ外国貿易・外国投資大臣のダボス会議出席

２１日から２３日、マルミエルカ外国貿易・外国投資大臣は、ダボス会議のパネルに出席するため、スイスを訪問した。マルミエルカ大臣は、キューバ政府が２０３０年までに、生産するエネルギーの２５％を再生可能エネルギーとすることを目標としており、その達成のためには外国からの投資が重要であると訴えた。また、マルミエルカ大臣は、アリシア・バルセナ国連ラテンアメリカ・カリブ経済委員会（ECLAC）事務局長、マリソル・アルゲタ世界経済フォーラム・ラテンアメリカ担当事務局長等とも会談した。

#### （１０）トゥーレ・ギニア外務大臣の来訪

２２日、ママディ・トゥーレ・ギニア外務・在外自国民大臣はキューバに到着した。２

4日に行われたロドリゲス外務大臣との会談では、良好な二国間関係について確認し、両国の協力関係の強化を継続する意志を有することで一致した。同時に、両外相は国際情勢についても意見交換した。同会談には、ギニア側から Hawa Diakite Kaba 駐キューバ・ギニア大使、Amy Koita 外務・在外自国民省米州・大洋州局長及び Mohamed Dabo 同省官房事務官が、キューバ側からロドルフォ・レジエス外務省多国間問題・国際法総局長、アルマンド・ベルガラ同省二国間問題総局長代理、ジセラ・ガルシア同省アフリカ・サブサハラ局長がそれぞれ同席した。

#### (11) ベネズエラ情勢

23日、キューバ外務省ホームページは、米国によるグアイド・ベネズエラ国民議会議長の暫定大統領としての承認に反対する報道発表を掲載した。同旨の内容は、ディアスカネル国家評議会兼閣僚評議会議長及びロドリゲス外務大臣のツイッターに複数回投稿されているほか、24日付グランマ紙及びフベントウ・レベルデ紙でも大きく報じられた。

#### (12) レベジェフ・ロシア最高裁判所長官の来訪

24日、レベジェフ・ロシア最高裁判所長官がキューバを訪問し、ルベン・レミヒオ人民最高裁判所長官と会談した。同会談には、キューバ側からオメロ・アコスタ国家評議会書記が同席した。

#### (13) カブリサス閣僚評議会副議長のスロバキア訪問

26日から28日、カブリサス閣僚評議会副議長はスロバキアを訪問した。ジャミラ・ピタ駐スロバキア・キューバ大使等が同行した。なお、キューバとスロバキアは1993年に外交関係を樹立した。

ペテル・ペレグリニ首相との会談では、二国間関係が良い状態にあることを確認するとともに、エネルギー及び公衆衛生を始めとするさまざまな分野における協力を引き続き進展させる意志を有することで一致した。同会談には、スロバキア側からリチャード・ラシ副首相及び Radko Kuruc 財務副大臣も同席した。

また、カブリサス副議長は、ペテル・カジミール副首相兼財務大臣、Andrea Kalaska 保健大臣、財務副大臣、経済副大臣、保健副大臣等とも会談するとともに、Monika Kohutova EXIMBANKA 総裁や二国間のプロジェクト実施に係る企業関係者とも意見交換した。

さらに、カブリサス副議長は、Roberto Fico 与党第一党「方向—社会民主主義 (Smer-SD)」党首とも会談した。同党首は、2018年のハバナ国際見本市 (F I H A V) の際にキューバを訪問し、ミゲル・ディアスカネル国家評議会兼閣僚評議会議長と会談している。

#### (14) カブリサス閣僚評議会副議長のスペイン訪問

29日から30日、カブリサス閣僚評議会副議長はスペインを訪問した。同副議長には、

外国貿易・外国投資省，財務価格省，外務省，中央銀行の幹部が同行した。

カブリサス副議長は，レジエス・マロト産業・通商・観光大臣と会談し，キューバへの直接投資案件の進捗について意見交換したほか，特にスペイン市場へのキューバ製品の輸出促進を含めた，増加中の二国間貿易についても議論した。

また，カブリサス副議長は，ナディア・カルビーニョ経済・競争力大臣と会談し，二国間経済関係全般，特に債務リスク合意プロセスを踏まえた計画の実施状況について議論した。

#### (15) 在キューバ・カナダ大使館の人員体制縮小

30日，キューバ外務省ホームページは，在キューバ・カナダ大使館の人員体制縮小に反対するホセフィーナ・ビダル駐カナダ・キューバ大使の声明を掲載した。同声明は，キューバは，世界中のどこであったとしても自国外交官を守るというカナダ政府の義務を理解するものの，同日発表された在キューバ・カナダ大使館の人員体制縮小というカナダ政府による決定は理解に苦しむものであるとした。